



あさひ、だいすき♪『旭区検定』 練習問題集

「あさひ、だいすき♪『旭区検定』」とは、旭区の貴重な財産である歴史や地域資源に加え「旭区ブランド」や「旭わがまちお宝」、「旭区地域史」等を問題にし、旭区の魅力を知っていただける、地域や年代を問わず参加できる検定試験です。

自然文化

カテゴリー ①

旭区には昭和9年に開園された城北公園があり、色々な自然とふれあうことができます。園内には昭和39年に開園した菖蒲園があり、約250品種13,000株の花しょうぶが栽培されています。開園中は各地から多くの人々が訪れ、「大阪みどりの百選」に選ばれています。また、城北公園では春には桜、初夏には花しょうぶ、秋には菊と四季折々の風情を楽しむことができます。



昔から交通・物流の大動脈であった淀川をより安全により使いやすくするために大規模な工事が行われました。オランダの技師、ヨハン・デレーケ氏による治水工事は川の両岸からT字型に粗朶沈床を突き出し、水流をコントロールする「水制工」というもので、年月を経て土砂が堆積し、現在では、赤川鉄橋から菅原城北大橋周辺に“ワンド”として残っています。

城北川は、旭区内を東西に横切り、大川と寝屋川を結ぶ全長5.6km(旭区部分は2.2km)の人口の水路で、昭和15年に完成しました。昭和60年に1級河川「城北川」となるまでは、「城北運河」という名前でした。

旭区今市にある宝龍寺には府指定の天然記念物である樹齢800年の大楠があります。

旭区民センター付近には、「アクアパーク」という公園があります。滝もあり、「区の花」である“ハナショウブ”をモチーフとした噴水があります。

1.大阪で花しょうぶといえば、区の花マークにも制定されている城北公園の花しょうぶが有名ですが、その品種の数は。

- ① 5種 ② 25種 ③ 250種 ④ 5000種

2.城北公園の北側に位置する淀川にある城北ワンド(入り江。また、川の上流や水たまりのこと)には、環境の悪化で絶滅の危機に瀕している国の天然記念物が生息しています(最近では確認されていない)が、次のうちどれでしょうか。

- ① オオサンショウウオ ② イタセンパラ
③ アメリカザリガニ ④ モリアオガエル

3.大川と寝屋川を結ぶ、城東区、旭区、都島区の3区にわたって流れる城北川の全長は何kmでしょうか。

- ① 0.4km ② 5.6km ③ 60.5km ④ 107.4km

4.城北川にかかっている橋は旭区内だけでいくつあるでしょうか。

- ① 13 ② 130 ③ 1,300 ④ 13,000

5.旭区周辺の用水路は個別に淀川から取水をしていましたが、昭和9年(1934)には、堤防の安全性、補修費を考慮し、統一してヶ所から取水するために、枚方市宇伊加賀地先に新合同樋門が建設されました。これに伴って「○○」も誕生しました。戦後の日本の発展の中でその役割は、灌漑用水路から排水路へとその目的が変更され、昭和49年(1974)には完全に暗渠化され地上から消えてしまいました。○○に当てはまるものは何でしょうか。

- ① 城北川 ② 江野川 ③ 大宮川 ④ 柳川

6.昭和10年(1935)頃、「城北公園○○館」が建てられましたが、戦況の悪化に伴い、戦時中は閉鎖。収蔵標本は、昭和48年(1973)に自然史博物館に移管されました。市民の人気を集め、「城北公園○○の会」「○○と植物の会」などが活動し、数多くの○○専門家が育ったといえます。○○に当てはまるものは何でしょうか。

- ① 動物 ② 生物 ③ 鉱物 ④ 昆虫

7.旭区北部を流れる母なる川「淀川」。一般的には八幡の三川合流(桂川・宇治川・木津川)地点から大阪湾までの37kmをいうことがありますが、河川法上は琵琶湖(瀬田洗堰)から大阪湾までの75kmをいいます。それでは大阪湾(大阪北港ヨットハーバー)から旭区西端(赤川鉄橋)までの距離は。

- ① 8km ② 12km ③ 14km ④ 16km

8.旭区民センター付近にある公園を「○○」といい、区の花であるハナショウブをモチーフとした噴水があります。滝もあり、付近一帯は、散策やスポーツ、レクリエーションに最適な場所となっています。○○に当てはまるものは何でしょうか。

- ① マリンパーク ② アリアパーク ③ アクシオンランド
④ アクアパーク

商業・産業

カテゴリー ②

旭区には市内でも有数の千林商店街があります。明治43年(1910)京阪電車の開業に合わせ、千林駅の前身である「森小路停留所」が設置され、付近に軒を連ねた商店が千林商店街の基礎となりました。スーパーダイエーは千林が創業地です。創業当時は、「主婦の店」という名前でした。その後、千林界隈にはイズミヤ、ニチイ、長崎屋と大手スーパーが次々と出店しました。

千林駅近く、千林商店街を歩くと「光あふれる輝きとこぼれる笑顔に迎えられー百十千、千林〜♪」の軽やかな歌声が聞こえてきます。

また北には今市商店街、西には千林大宮商店街、南には森小路京かい道商店街が連なり旭区の商店街群を形成しています。旭区ブランドである、アイスモナカの「角屋」さんやお好み焼きの「双基」さんが有名です。

旭区の産業は、明治43年4月京阪電気鉄道の開通とともに、農業を主体としていた清水・古市・城北の各村も専業農家から兼業農家に変化し、急速に商・工業が発展し、城北川周辺は工場地帯に変わっていききました。

現在、高殿1丁目にある「伊吹工業株式会社」さんは日本で唯一小型船舶から大型船舶に搭載されるあらゆる汽笛を製造している企業です。また、太子橋には大阪の粉もん文化には欠かせないソースの

製造会社、「株式会社金紋ソース本舗」さんがあり昭和8年の創業以来、大阪のさまざまな味をつくりだしています。「伊吹工業」ならびに「金紋ソース本舗」さんは旭区ブランドに認定されています。

9.千林には数多くの商店街が連なり、網の目のように交差しています。そのうちの1つ、京阪千林駅と地下鉄千林大宮駅の間を結ぶ「千林商店街」の長さはどの位でしょうか。

- ① 3m ② 50m ③ 660m ④ 1,100m

10.旭通り商店街は菖蒲園の開園時期にあわせ、城北公園等で市民が育てた花しょうぶを通りに飾っています。このことにより「旭通り商店街」を別名何というのでしょうか。

- ① しょうぶ通り
② 花しょうぶ街道
③ 花街道
④ 花商店街



11.夏はアイスモナカ、冬は廻転焼き…かき氷のメニューの多さもびっくりの森小路京かい道商店街にある「角屋」さん。このお店でちょっと変わった注文方法があります。さて、その方法とは次のうちどれでしょうか。

- ① 自分で紙に書く ② 自分でレジを打つ
③ 大声でさげぶ ④ セルフサービス

12.城北公園近くにある和菓子屋「松福堂正一」さん。平成10年の第23回全国菓子大博覧会で内閣総理大臣賞を受賞した商品は次のうちどれでしょうか。

- ① 浪花の渦 ② 城北しぐれ ③ 姫菊
④ いちご大福

13.旭区内の和菓子屋さんたちが、旭区の花である「花しょうぶ」をモチーフとして、区制80周年を記念した、お菓子づくりの取り組みをされました。それらのお菓子を総称して何というのでしょうか。

- ① あさひ ② くのか ③ しろきた ④ しょうぶ

14.清水1丁目にある「株式会社五藤」さんが日本で初めて作った製品はどれでしょうか。

- ① 意匠(デザイン)便箋 ② ボールペン
③ シャープペンシル ④ 消しゴム

15.「旭わがまちお宝」に認定されているうなぎ店についての出題です。高殿4丁目にある、○○3年創業以来、備長炭で焼く「手焼きうなぎ」にこだわり続け、美味しい蒲焼で有名なうなぎ店「魚伊」さん。○○にはいる年号は次のうちどれでしょうか。

- ① 昭和 ② 大正 ③ 明治 ④ 慶応

16.生江にある「寺西化学工業」さんは、「?」のマークでおなじみの「マジックインキ」をマーキングペンとして日本で最初に開発しました。ペン先には次のうち何を使っているのでしょうか。

- ① 馬の毛 ② 羊毛フェルト ③ 紙 ④ ステンレス

17.高橋英樹さんがCMに登場するテレビでお馴染みのジェネリック医薬品(後発医薬品)の大阪工場が赤川にあります。この会社は、昭和4年薬局として旭区で創業し、その後昭和23年製薬株式会社に発展していききました。現在の本社は淀川区に移転していますが、旭区生まれの会社です。さて、その会社は次のうちどれでしょうか。

- ① 大正薬品 ② シオノギ製薬 ③ 大鵬薬品
④ 沢井製薬



18.明治30年に旭区で最初の近代工場が今市1丁目で開業されました。何をつくる工場だったのでしょうか。

- ① 織布 ② ネジ ③ 建築材 ④ 鉄鋼

19.まちの社交場ともいわれる銭湯。「旭わがまちお宝」として認定されている『神徳温泉』さんには、次のうち、1つだけ無いものがあります。それはどれでしょうか。

- ① 年中無休の営業
② 直径2メートルの大時計がある
③ “美肌の湯”ともいう軟水を使用
④ 露天風呂がある

20.昭和8年に、日本で初めて本格的な電熱体としてシリーズヒーターの生産以降、次々と工業用電熱体を開発し、工場などの熱源普及に努めている電熱体専門メーカーが旭区新森にあります。さて、その会社は次のうちどれでしょうか。

- ① 石原ヒーター製造 ② 石田ヒーター製造
③ 石山ヒーター製造 ④ 石井ヒーター製造

21.昭和35年(1960)の旭区の住宅地図に載る映画館の数は8軒あり、旭映画劇場、大宮東宝劇場、ミリオン座、森小路東映、江南キネマ、千林松竹、千林劇場と〇〇がありました。現在は一軒も残っていません。〇〇に当てはまるものは何でしょうか。

- ① 大映 ② 角座 ③ 南座 ④ 吉本

22.戦前千林商店街に百貨店の出店がありました。さて、どこでしょうか。

- ① 大丸 ② そごう ③ 高島屋 ④ 西武

23.区内の公共施設で、昭和6年(1931)に発見された森小路遺跡で発見された出土品の一部が展示されている施設があります。それは次のうちどれでしょうか。

- ① 旭区老人福祉センター ② 旭区役所
③ 城北市民学習センター ④ 旭区民センター



24.森小路遺跡は主に何時代のものでしょうか。

- ① 縄文時代 ② 弥生時代 ③ 飛鳥時代
④ 平安時代

25.『日本書紀』によると、〇〇の頃、淀川の治水対策として、茨田堤(まんだのつつみ・堤防)を築いたとあります。当時、堤防を築いても大雨が降るとすぐに決壊して築堤が困難でした。ある夜、夢に「武蔵の人強頸(こわくび)と、河内の人茨田連杉子(まむたのむらじころものこ)の二人をいけにえとして、河の神にまつれば、崩れない築堤が成就する」という神のお告げがあり、この二人が人柱として選ばれました。杉子は策を用いて難を逃れましたが、強頸は泣く泣く人柱にたち、堤は完成したといえます。〇〇に当てはまるものは何でしょうか。

- ① 仁徳天皇 ② 聖徳太子 ③ 神武天皇
④ 崇神天皇

26.飛鳥時代。推古天皇を補佐する〇〇は河内平野・淀川の堤を視察し、周辺住民に中国からの技術を伝えました。〇〇は旭区にも立ち寄りたことされ、旭区の地名からも、うかがえます。〇〇に当てはまるものは何でしょうか。

- ① 仁徳天皇 ② 聖徳太子 ③ 神武天皇
④ 崇神天皇

27.旭区内には、豊臣秀吉が大阪(大阪城京橋口)を出発点に京(伏見)へ結ぶ最短道路として文禄年間(1592~1597)に陸路を築いた街道の一部があります。その街道とは、どれでしょうか。

- ① 京街道 ② 鳥羽街道 ③ なにわ街道
④ 大和街道

28.〇〇は、京街道の整備、淀川の堤の改築(太閤堤)など交通・治水面を考えた事業を行いました。現在でも高殿に残る「七曲がり」は大阪城防衛のために、また敵の兵の様子を察知し、少しでも軍の進路を遅らせるためにわざと道路をせまく、曲がりくねらせたといわれています。〇〇に当てはまるものは何でしょうか。

- ① 徳川家光 ② 徳川無声 ③ 豊臣秀吉
④ 徳富蘆花

29.〇〇街道は、旭区内を東西に横切り、守口の寺方、門真市三ツ島を通過して〇〇観音(慈眼寺)へ至ることからそう呼ばれました。江戸時代から明治末期頃まで、お参りをする人たちが賑わいました。〇〇に当てはまるものは何でしょうか。

- ① 山崎 ② 野崎 ③ 城之崎 ④ 仙崎

30.延宝4年(1676)頃、個人経営の渡しとして発足しました。昭和23年(1948)4月から大阪市直営となり、周辺部の市街化で利用者が急増しましたが、豊里大橋開通にともない昭和45年(1970)3月31日に、渡船場は姿を消すことになりました。旭区では人名を由来とする「〇〇の渡し」と呼ばれています。〇〇に当てはまるものは何でしょうか。

- ① 太子橋 ② 豊郷 ③ 沢田 ④ 平太

31.大宮神社は源義経が平家追討のため通りかかったところ霊光があり、その地に神の祠を建てたとされています。それは、どの天皇の時代の頃でしょうか。

- ① 推古天皇 ② 桓武天皇 ③ 鳥羽天皇
④ 後鳥羽天皇

32.赤川には「日吉神社」という古い神社があります。その前称「山王宮」がまつられていた「赤川寺」は、いつ頃建立されたのでしょうか。

- ① 約400年前 ② 約600年前 ③ 約800年前
④ 約1,000年前



33.清水3丁目にある八幡大神宮は、火災と悪疫を防ぐご利益があるといわれています。さて、この八幡大神宮の別名は何でしょうか。

- ① 不焼宮 ② 消防宮 ③ 防火宮 ④ 防犯宮

34.旭区が農村地帯であった当時、井路川と呼ばれる淀川水系の用水路、交通水路が発達しており、そこを「〇〇」という幅三尺(約90センチ)、長さ三間(約5.4メートル)の小回り舟を自在に操って、農民たちは農作物や肥料を運搬し、村内を自由に往来していました。〇〇に当てはまるものは何でしょうか。

- ① 一枚岩 ② 二枚舌 ③ 三枚板 ④ 四万十

35.旭区は京都と大阪を結ぶ水陸交通の要となる大切な所でもあり、江戸時代初期から〇〇という船などが淀川を上り下りしていました。さて、〇〇に入る言葉はどれでしょうか。

- ① ポンポン船 ② 三十石船 ③ 屋形船
④ ジェット船

36.大正時代、当時相撲協会が関東相撲と関西相撲に分かれていました。関西相撲では最高位が大関でした。上辻村出身の大関〇〇関がいました。〇〇に当てはまるものは何でしょうか。

- ① 琴ヶ浜 ② 増井山 ③ 松乃音 ④ 千代の山

37.城北公園のとなりにある淀川堤防に「千人つか」がありますが、これは何のために建てられたのでしょうか。

- ① 淀川大洪水の時流された人びとの慰霊碑
② 淀川大改修時の犠牲者の慰霊碑
③ 淀川改修時に地域から千人が動員された記念碑
④ 第二次世界大戦時の犠牲者の慰霊碑

歴史

カテゴリー ③

旭区は淀川と大和川から流れ込む土砂が堆積し出来たといわれています。新森中央公園付近で昭和6年(1931)森小路遺跡が発見されました。土器や石器、また貝塚や住居跡なども出土し、その後の調査により弥生時代中期に栄えたムラの跡であることが判明しました。遺跡の出土品は旭区民センターの郷土史料室に展示されています。

旭区では豊臣秀吉が築いた「京街道」が有名ですが、野崎観音への参道から発達した野崎街道のほか剣街道・杉山街道が通っており、千林商店街は野崎街道と京街道の交差点を中心発展していきました。陸路の京街道と合わせて淀川も古くから交通の要衝で、江戸時代初め頃から、大阪と京都を結ぶ「三十石船」が淀川を往来していました。

また、農村地帯であった頃は水利や運搬に「井路川」と呼ばれる水路が活用され、「三枚板」と呼ばれる幅三尺(約90センチ)、長さ三間(約5.4メートル)の小船が行きかかっていました。

区内には、古くから氏神さんとして親しまれてきた、不焼宮の別名を持つ「八幡大神宮」、源義経が平家討伐の通りがかりに霊光があり建てられた「大宮神社」、赤川寺の境内の山王社を起源とする「日吉神社」があります。

旭区の歴史は、日本書紀に記述の「強頸の絶間(現千林付近とされる)」の伝説に象徴されるように水と生き、治水に明け暮れた歴史と言えます。

明治18年、現在の枚方市伊加賀の堤防が決壊し、大洪水に見舞われました。その後、治水翁と呼ばれた大橋房太郎氏の運動により淀川は全面改修され、明治43年に工事が完了し、現在に至ります。

交通

カテゴリー ④

旭区には現在、鉄道が3路線通っており、最も古い鉄道が「京阪電車」で明治43年(1910)開通し「森小路停留所」(現:千林駅)ができました。市営交通は、市電が昭和4年(1929)に今市まで開通、その後守口まで延伸されましたが、昭和44年(1969)廃止されました。地下鉄は、谷町線が昭和52年(1977)に都島~守口間が開通し旭区内に初めて地下鉄が通りました。その後、平成18年(2006)今里筋線が開通しました。市バスは、昭和3年(1928)に旭区内への乗り入れが開始され、平成25年4月現在、9路線が運行しています。また、道路は国道1号線や163号線、城北公園通、